

令和8年度開講の科目等履修生（高校生等）履修可能科目 日本 の高校生対象科目																		
学域・学類等		授業科目名	授業科目の内容	科目区分	時間割番号	開講 クォーター	曜日／時限 （集中講義の場合 は「集中」）	担当教員 （担当教員へ連絡しても返信が無い場合は、出願/問 い合わせ先に記載の「担当係」へ連絡してください）		単位数	高校生履修 可能人数	高校生等が履修可能な授業形態		単位認定方法		教科書・参考書の購入要	備考	出願／問い合わせ先
							1限 8:45～10:15 2限 10:30～12:00 3限 13:15～14:45 4限 15:00～16:30 5限 16:45～18:15 6限 18:30～20:00	氏名	連絡先 （代表者）			①-1：完全オンデマ ンドかつ即応性対応 可能型 ①-2：完全オンデマ ンドかつ即応性対応 可能型 （対面試験の実施を 含む） ②-1：同時かつ双方向 ②-2：同時かつ双方向 （対面試験の実施を 含む） ③：対面授業（対面試 験の実施を含む） ④：集中講義	オンデマンド掲載 期間 （視聴可能期 間）	対面式試験実施、 レポート・課題提出等				
1	融合学 域	テクノロジー基礎	様々な先端テクノロジーの概要を知った上で、各テクノロジーがどのような場面・目的で利用されているかについて理解を深めます。	専門基礎科目	先導学類：21301 観光デザイン学類：22103 スマート創成科学類：23101	Q4	月曜／2限	佐藤 賢二 他	ken@t.kanazawa-u.ac.jp	1	（融合学域全体で）10	①-1	掲載日から年度末（3/31）まで	レポート	不要	質問はメールでも受け付けます。	融合系事務部学生課教務係 Tel：076-264-5922 Mail：yugokyoumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	
2		文化と地域経済	文化という観点を軸にして、地域経済・地域政策の現代的展開の理解を深めます。国内外各地域の動向と関連づけながら、現代のグローバル化・知識経済段階のもとで、地域の文化資源を活かした地域経済の振興に関する理論的枠組みを学修します。	専門科目	観光デザイン学類：32111	Q3	金曜／1限	佐無田 光	samuta@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	（融合学域全体で）10	①-2	掲載日から年度末（3/31）まで	対面式試験実施	不要	—		
3		人間拡張とライフ	人間の能力をテクノロジーによって自由に増強・拡張させる技術である人間拡張について、医療及び産業における応用例を学びます。	専門科目	スマート創成科学類：33104	Q1	水曜／4限	野村 章洋、田中 志信	anomura@med.kanazawa-u.ac.jp	1	（融合学域全体で）10	①-1	掲載日から年度末（3/31）まで	レポート	不要	質問はメールでも受け付けます。		
4	人文学類	イメージの比較文化学	世界各地の視覚イメージ、とくに宗教的な美術を中心に、人間が生み出したさまざまな文化を読み解いていきます。	学域GS科目	10026.001	Q3	月曜／5限	森 雅秀	abhaya@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	③	—	複数回のレポート提出	不要	—		
5		日本の近代文学1	おもに20世紀初頭に活躍した日本の文学者たちが、現代に直接的につながる問題群とどのように向き合い、その取り組みをどのように文学作品に結晶させたのかを検討します。	専門科目	42801	Q1	金曜／5限	原 佑介	harayusuke@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	③	—	2回のレポート提出	不要	—		
6	法学類	ルールリテラシー	価値化の多様化した現代社会では、お互いに依拠すべきルールについて合意を形成し、形成されたルールを使いこなすことが、みんなが仲良く幸せに暮らしていく前提となっています。この意味で、「ルールリテラシー」（＝ルール（法）はどのように作られ、どのように使われるのかについての理解）は、法学・政治学を専門にするかどうかとは関係なく、また専門分野あるいは文系・理系の別を超えて、現代社会に生きる全ての人に必須の教養のひとつと言えます。	学域GS科目	51-10059	Q3	火曜／5限	福本 知行	fukumoto@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	②-1	—	小テスト（オンライン実施）	不要	—	人間社会系事務部学生課教務・学生支援担当 Tel：076-264-5603 Mail：n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	
7		人文社会科学における法	法とは何か、法はどうあるべきか、という法の本質を考える学問分野（「基礎法学」）を紹介する入門的授業です。	学域GS科目	51-10060	Q4	火曜／5限	足立 英彦、中村 正人、東川 浩二、丸本 由美子	hadechi@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	②-2	—	小テスト（対面・オンライン併用）	不要	—		
8	経済学類 （日本の財政金融と北陸経済）	日本の財政・税制の現状、金融行政方針、経済情勢などについて、実務を担当している北陸財務局、財務本省、金沢国税局等の職員が順次入れ替わり各テーマについて講義します。	学域GS科目／専門科目 （経済学類）	51-10089/51-45133	Q1～Q2	木曜／3限	小林 信介	kobashin@staff.kanazawa-u.ac.jp	2	10	①-1	講義翌日の金曜日から3日間（日曜日まで）	遠隔式試験実施	不要（講義資料を講義日前にアップし、期末試験を含む受講期間中は随時閲覧可能）	—	—		
9	学校教育学類	保育学概論Ⅰ	家庭教育の一分野である保育学の入門的講義	学校教育学類専門科目	51-120FA1	Q1	木曜／2限	滝口 圭子	ktaki@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	3	①-1	開講期間中	毎回の小レポートによる総合評価	不要	—		
10		教職と学校	教育学入門の講義	学校教育学類学類共通科目	51-12BBB1	Q4	水曜／5限	原田 克巳 他5名	kharada@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	②-1	Q4	各回の小レポートによる総合評価（LMSに提出）	特になし。配布資料はLMS上にアップするので各自でダウンロードします。	—		—
11	地域創造学類	河川環境論	河川を中心とする環境について、自然特性と人の営みの双方向の関係を解説し、流域まちづくりのあり方について考える。	専門科目	51-35A18	Q2	水曜／4限	坂本 貴啓	t-sakamoto@staff.kanazawa-u.ac.jp	2	3	①-1	Q2終了時まで	レポート課題提出	防災・復興人材特別プログラム科目に対応 別日に河川・河川活動の見学会を実施予定（参加できない場合は別途代替措置を講じます）	—	—	
12	国際学類	日本文化E（Japanese Culture E）	This course introduces various aspects of what is known as Japanese culture. Instead of taking Japanese culture as merely traditional arts and performance, it explores culture broadly as part of social norms, practices and lifestyle. The course helps students to acquire an academic perspective for Japanese cultural products as the subject of analysis.	学域GS科目	51-10091	Q4	金曜／1限	テーレン・ティモ、久保 豊、クラフ・ティム	thelen@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	①-1	受講期間中	レポート	不要	講義はすべて英語で行われるため、英検2級以上の英語力があることが望ましい。	理工系事務部学生課教務係 Tel：076-234-6831、6978 Mail：s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	
13	数物科学類	数学物理学基礎演習A	現代の数学・物理学の入口を英語で覗いてみませんか。世界の数学・物理学研究に繋がる第1歩です。	学域GS科目	20013.001	Q3	火曜／2～3限	高橋 圭、柴田 幹大、丸山 修平	keitakahashi@se.kanazawa-u.ac.jp	1	5	①-1	受講期間中	レポート・課題提出	不要	教材に使用する言語は英語である。		
14		情報・計算科学基礎	コンピュータを使って最先端科学の世界に飛び込む準備をしませんか。科学の方法としてのプログラミングやデータ可視化の基礎を実践的に学びます。	学域GS科目	20024.001	Q3	火曜／4～5限	石井 史之、岩崎 宏、POZAR NORBERT、山口 直也	ishii@cphys.s.kanazawa-u.ac.jp	2	5	①-1	受講期間中	レポート	不要	教材に使用する言語は英語である。パソコンによるプログラミング(Python)実習を実施する。講義の最初に、自分のパソコンにプログラミング環境(Python)を導入する作業を実施する。金沢大学必携パソコン(https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/hikkeipc/)と同等の仕様を満たすパソコンを使用できること。		
15		計算科学	コンピュータを使って最先端科学の世界に飛び込む準備をしませんか。科学の方法としてのプログラミングやデータ可視化の基礎を実践的に学びます。	専門基礎科目	20202.001	Q4	火曜／4～5限	石井 史之、POZAR NORBERT、山口 直也	ishii@cphys.s.kanazawa-u.ac.jp	2	5	①-1	受講期間中	レポート	不要	教材に使用する言語は英語である。パソコンによるプログラミング(Python)実習を実施する。講義の最初に、自分のパソコンにプログラミング環境(Python)を導入する作業を実施する。金沢大学必携パソコン(https://www.emi.kanazawa-u.ac.jp/hikkeipc/)と同等の仕様を満たすパソコンを使用できること。		
16	物質化学類	物理化学基礎A	物理化学の基礎、気体の性質、熱力学、エンタルピーとエントロピー	専門基礎科目	27001	Q3	火曜／1限	太田 明雄	akio-o@se.kanazawa-u.ac.jp	1	若干名	①-2	Q3	筆記試験	Peter Atkins、Julio de Paula [著]：千原秀昭、稲葉章、鈴木晴訳「物理化学要論」（東京化学同人）	高校の化学を修得済み、若しくは修得中であれば受け入れ可	理工系事務部学生課教務係 Tel：076-234-6831、6978 Mail：s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	
17		物理化学基礎B	量子論、波動方程式、量子化学の基礎、原子・分子の構造、化学結合	専門基礎科目	27002	Q4	火曜／5限	井田 朋智	ida@se.kanazawa-u.ac.jp	1	若干名	③	—	授業内の小テスト	Peter Atkins、Julio de Paula [著]：千原秀昭、稲葉章、鈴木晴訳「物理化学要論」（東京化学同人）	高校の物理・化学を修得済み、若しくは修得中であれば受け入れ可		
18	機械工学類	機械工学概論A	機械工学の分野で重要な基礎的な事項を学び、最先端の研究においてどのように活用されているかを紹介します。	学域GS科目	20045	Q3	火曜／5限	下川 智嗣、古本 達明、辻口 拓也	simokawa@se.kanazawa-u.ac.jp	1	5	①-1	Q3	レポート提出	不要	—	学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Tel：076-264-5758 Mail：stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	
19	フロンティア工学類	フロンティア工学概論A	フロンティア工学類で扱う機械・人間・材料・情報に関する工学基礎から最先端研究までを紹介します。	学域GS科目	20047	Q3	木曜／5限	汲田幹夫、宮澤佳甫、他	kumita@se.kanazawa-u.ac.jp	1	5	①-1	Q3	レポート	不要	—		
20	電子情報通信学類	電子情報通信先端テクノロジー概論	電子情報通信工学に関連する最先端の技術や機器について学習し、各分野の理解を深めます。	学域GS科目	20049	Q3～Q4	水曜／5限	田中 康規、他	tanaka@ec.t.kanazawa-u.ac.jp	2	若干名	①-1	開講期間中	レポート提出	不要	セメスター制で開講（Q3～Q4）		
21	生命理工学類	生命理工学概論A	生物学の分野での重要で先端的な研究について理解するとともに、「理学」と「工学」の両面からこの分野の魅力と問題点を概観できます。	専門基礎科目 （学域共通科目）	20209	Q3	火曜／2限	木谷 洋一郎、金森 正明、小藤 崇美子、中山 隆宏、羽澤 勝治、伊藤 正樹、関口 俊男	kiya@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	3	②-1	Q3の間（ただし、レポート締切は各回ごとに独自で設定される）	レポート・課題提出	不要	—		
22		生物科学概論B	生命科学とバイオ工学の入門および興味深い話題の紹介	学域GS科目	20023	Q2	水曜／1限	竹内 裕、小林 功、鈴木 信雄、柘植 隼太、柿川 真紀子、田岡 東、黒田 浩介、高橋 憲司	kiya@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	3	②-1	Q2の間（ただし、レポート締切は各回ごとに独自で設定される）	レポート・課題提出	不要	—		
23	地球社会基盤学類	防災・復興学入門A	多様な自然災害のメカニズムや対応策・課題を地球科学、社会基盤学の観点から総合的に理解することで、自然災害に対する問題意識を喚起する。合わせて、被災地諸機関と協働して復旧・復興を推進するために必要な基礎知識を地域創造学や観光学等の多角的視点から学修する。	共通教育自由履修科目	77681.1	Q2	集中	信岡 尚道、由比 政年他	hinoka@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	20	④	—	レポート・課題提出	教科書購入要 （防災士教本【2025年度版】、4,000円、購入方法は別途連絡）	講義は対面のみ 集中講義講義の日程 2026年8月29日、30日（予定） 防災・復興人材特別プログラム科目	学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Tel：076-264-5758 Mail：stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所：〒920-1192 金沢市角間町	

令和8年度開講の科目等履修生（高校生等）履修可能科目 日本の高校生対象科目

学域・学類等		授業科目名	授業科目の内容	科目区分	時間割番号	開講 クォーター	担当教員 （担当教員へ連絡しても返信が無い場合は、出願/問い合わせ先に記載の「担当係」へ連絡してください）		単位数	高校生履修 可能人数	高校生等が履修可能な授業形態		単位認定方法		教科書・参考書の購入要	備考	出願／問い合わせ先
							曜日／時間 （集中講義の場合は「集中」）	氏名			連絡先 （代表者）	①-1：完全オンデマンドかつ即応性対応可能型 ①-2：完全オンデマンドかつ即応性対応可能型（対面試験の実施を含む） ②-1：同時かつ双方向 ②-2：同時かつ双方向（対面試験の実施を含む） ③：対面授業（対面試験の実施を含む） ④：集中講義	オンデマンド掲載期間 （視聴可能期間）	対面式試験実施、レポート・課題提出等			
24	医学類	医学研究プレゼンテーション	メディカルリサーチトレーニング（MRT）プログラム学内リトリートや学会等における、英語を用いた研究成果発表。または、英語による論文作成。	専門科目	53-41122	Q1～Q4	集中	山本 靖彦	yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp	2	20	④	—	発表そのものを評価 発表が無い場合にはレポートあるいは課題提出	不要	日程については随時案内	医薬保健系事務部学生課医学学務係 Tel:076-265-2125 Mail:t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp
25		最新医学研究	メディカルサイエンス入門、メディカルサイエンストレーニングプログラムセミナーなど。	専門科目	53-41123	Q1～Q4	集中	山本 靖彦	yasuyama@med.kanazawa-u.ac.jp	2	20	①-1	掲載日から年度末(3/31)まで	レポートあるいは課題提出	不要	日程については随時案内 防災・復興人材特別プログラム科目	住所:〒920-8640 金沢市宝町13-1
26	薬学類	生体の機能	本科目は感覚・運動・記憶などの機能を司る脳神経系のしくみを中心に説明する講義です。	専門基礎科目	53-12101	Q3～Q4	火曜／3限	金田 勝幸	k-kaneda@p.kanazawa-u.ac.jp	2	2	①-2	初回講義翌日から最終講義1週間後まで	対面式試験実施	要（「グラフィカル機能形態学第3版 一葉が効く先のカラダへの理解を求めて」 編者 馬場広子 京都廣川書店）、8,800円（税別）、各目書店等で購入すること	「生物学」を履修済みであることが望ましい。	医薬保健系事務部薬学・がん研支援課薬学学務係 Tel:076-234-6828 Mail:y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp
27		生体の構造	高校時代に生物を十分学んでいない薬学生のための機能形態学入門講義です。	専門基礎科目	53-12102	Q3～Q4	火曜／4限	加藤 将夫	ykato@p.kanazawa-u.ac.jp	2	15	①-2	10/1～3/31	対面式試験実施	要（「グラフィカル機能形態学第3版 一葉が効く先のカラダへの理解を求めて」 編者 馬場広子 京都廣川書店）、8,800円（税別）、各目書店等で購入すること	—	住所:〒920-1192 金沢市角間町
28	医薬保健学域	医薬科学イノベーション概論	医療分野での社会的ニーズを探り、医薬品、医療機器開発歴史や現在の先端医療テクノロジーの応用の取り組み例から、その過程で必要とされる基礎的な知識などを修得します。	学域GS科目	□003	Q3	水曜／5限	門野 真由子、米田 隆	門野 真由子 mkadono@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	20	②-1	—	毎回の講義に対する課題動画によるレポート。最終レポート（動画）	不要	オンラインでのActive Learningを行います。グループワークをします。	医薬保健系事務部学生課 医薬科学学務係 Tel:076-234-6907 Mail:iyaku-gaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
29	保健学類	医療統計学	医療者にとって、最低限知っていてほしい統計学の基礎についての講義と演習を行います。 主な内容は以下の通りです。 1：母集団と標本について学ぶ 2：基本的な統計量について学ぶ 3：確率と確率分布関数について学ぶ 4：検定と分布関数について学ぶ 5：検定と推定の基本的考え方について学ぶ 6：中心極限定理について学ぶ 7：平均値の検定について学ぶ（1） 8：平均値の検定について学ぶ（2） 9：一元配置分散分析と多重比較 10：二元配置分散分析 11：回帰分析 12：パソコンを使った解析の実習を行う（1） 13：パソコンを使った解析の実習を行う（2） 14：パソコンを使った解析の実習を行う（3） 15：医療分野の研究への統計学の実用例 16：試験	学域GS科目	45240.99	Q3～Q4	月曜／5限	岡本 博之、川崎 広貴	岡本 博之 okamoto@mh.s.mp.kanazawa-u.ac.jp	2	20	①-1	受講期間中	毎講義ごとに課題有、Webでの期末試験実施	教科書の購入を推奨する（必須ではありません）。 「医療統計学の基礎」 城戸照彦著 ISBN：4-7578-0021-5 金額3,600円、大学生協等にて購入	高等学校数学において、微分積分の概念を理解していることを前提に講義を行う。	医薬保健系事務部保健学支援課 保健学務係 Tel:076-265-2515 Mail:t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp
30	全学教育・国際共修機構 基幹教育部門	グローバル時代の国際協力	グローバル時代において、人類共通の課題に立ち向かうためには、我々はどうしたら良いのだろうか。	共通教育科目 GS科目	未定	Q2	水曜／5限	渡辺 敦子	atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	③	—	レポートとグループワーク	小熊英二著『社会を変えるには』（講談社現代新）購入が望ましい	—	学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Tel:076-264-5758 Mail:stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 住所:〒920-1192 金沢市角間町
31		グローバル時代の国際協力	グローバル時代において、人類共通の課題に立ち向かうためには、我々はどうしたら良いのだろうか。	共通教育科目 GS科目	未定	Q3	水曜／5限	渡辺 敦子	atsukowtnb@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	③	—	レポートとグループワーク	小熊英二著『社会を変えるには』（講談社現代新）購入が望ましい	—	
32		グローバル時代の社会学	身の回りとその背後にある社会に批判的思考を働かせてみる、社会学という学問的世界に触れる。	共通教育科目 GS科目	未定	Q1	月曜／5限	眞住 優助	ymazumi@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	3	③	—	対面式試験実施	国際基幹教育院Webサイトから、教科書（PDF）をダウンロードすること	英語のみで受講可能な学生限定	
33		グローバル時代の社会学	身の回りとその背後にある社会に批判的思考を働かせてみる、社会学という学問的世界に触れる。	共通教育科目 GS科目	未定	Q2	月曜／5限	眞住 優助	ymazumi@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	3	③	—	対面式試験実施	国際基幹教育院Webサイトから、教科書（PDF）をダウンロードすること	英語のみで受講可能な学生限定	
34		グローバル時代の社会学	身の回りとその背後にある社会に批判的思考を働かせてみる、社会学という学問的世界に触れる。	共通教育科目 GS科目	未定	Q4	金曜／5限	眞住 優助	ymazumi@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	国際基幹教育院Webサイトから、教科書（PDF）をダウンロードすること	—	
35		地球生物圏と人間	地学と生物について横断的に学習する/対面形式の講義および毎回の小テスト	共通教育科目 GS科目	未定	Q2	月曜／5限	佐藤 圭	ksato@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	②-2	いつでも	小テストの受験/レポート課題	不要	試験の運営方法は要検討（期末に小テストをまとめ受験）	
36		ヘルスとウェルネス（旧 健康科学）	心身の健康を学び、健康的な生活を実践する授業です。	共通教育科目 GS科目	未定	Q3	金曜／5限	唐島 成宙	skarashima@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	5	①-2	いつでも	小テストの受験/対面式試験の実施	国際基幹教育院Webサイトから、教科書（PDF）をダウンロードすること	—	
37		ラテン語入門1	ラテン語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77670	Q1	水曜／5限	Runner, Jacob Wayne	jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（岩崎務著『ニューエクスプレスプラス ラテン語』白水社、2,860円、一般書店で購入可能）	—	
38		ラテン語入門2	ラテン語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77671	Q2	水曜／5限	Runner, Jacob Wayne	jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（岩崎務著『ニューエクスプレスプラス ラテン語』白水社、2,860円、一般書店で購入可能）	「ラテン語入門1」を履修済であることを前提とする。	
39		ラテン語入門3	ラテン語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77672	Q3	水曜／5限	Runner, Jacob Wayne	jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（岩崎務著『ニューエクスプレスプラス ラテン語』白水社、2,860円、一般書店で購入可能）	「ラテン語入門1・2」を履修済であることを前提とする。	
40		ラテン語入門4	ラテン語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77673	Q4	水曜／5限	Runner, Jacob Wayne	jwrunner@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（岩崎務著『ニューエクスプレスプラス ラテン語』白水社、2,860円、一般書店で購入可能）	「ラテン語入門1・2・3」を履修済であることを前提とする。	
41		古典ギリシア語入門1	古典ギリシア語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77666	Q1	月曜／5限	入江浩司	irie@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（田中美知太郎・松平千秋著『ギリシア語入門新装版』岩波書店、2,640円、一般書店で購入可能）	—	
42		古典ギリシア語入門2	古典ギリシア語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77667	Q2	月曜／5限	入江浩司	irie@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（田中美知太郎・松平千秋著『ギリシア語入門新装版』岩波書店、2,640円、一般書店で購入可能）	「古典ギリシア語入門1」を履修済であることを前提とする。	
43		古典ギリシア語入門3	古典ギリシア語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77668	Q3	月曜／5限	入江浩司	irie@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（田中美知太郎・松平千秋著『ギリシア語入門新装版』岩波書店、2,640円、一般書店で購入可能）	「古典ギリシア語入門1・2」を履修済であることを前提とする。	
44		古典ギリシア語入門4	古典ギリシア語を学ぶ	共通教育科目 自由履修科目	77669	Q4	月曜／5限	入江浩司	irie@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	対面式試験実施	教科書の購入が必要（田中美知太郎・松平千秋著『ギリシア語入門新装版』岩波書店、2,640円、一般書店で購入可能）	「古典ギリシア語入門1・2・3」を履修済であることを前提とする。	
45		アート思考とIoTプロトタイピング演習	マイコンのプログラミング・プロトタイピング	共通教育科目 自由履修科目	77643	Q3	火曜／5限	秋田 純一	akita@s.t.kanazawa-u.ac.jp	1	2	③	—	レポート	不要	—	
46		石川県の市町	毎回、県内各市町の首長（市長・町長）や幹部職員をゲストスピーカーにお招きし、地域の課題の解決に向けて、学生とともに考える授業です。	共通教育科目 自由履修科目	70155.01	Q1～Q2	土曜／2限 （シティカレッジ時間割では土曜日第1講時という）	佐藤 文彦	sato@staff.kanazawa-u.ac.jp	2	5	①-1、②-1	毎回土曜日の授業後、翌週木曜まで	毎回の授業後の感想票提出と学期末レポート	不要	この授業は金沢大学が提供する、いしかわシティカレッジの開講科目です。学年暦は大学コンソーシアム石川のそれに準じますので、開講日は2026年4月11日（土）から8月8日（土）までになります。対面での授業はしいのき迎賓館（金沢市広坂2-1-1）3階のセミナールームで行われます。	
47	能登里山里海未来創造センター	防災・復興データサイエンス入門	復興のための基礎情報となる人口を推計する方法を学修する	共通教育科目 自由履修科目	77678.1	Q2	集中	信岡 尚道	nobuoka@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	①-1	Q2	レポート	不要	各回、予習と復習の実施確認も行う。詳細はシラバスおよび初回のガイダンスにて	学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Tel:076-264-5758 Mail:stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp
48		防災地域づくり論	地域を自然災害から守る方法について学修する	共通教育科目 自由履修科目	77679.1	Q3	集中	信岡 尚道	nobuoka@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	①-1	Q3	レポート	不要	各回、予習と復習の実施確認も行う。詳細はシラバスおよび初回のガイダンスにて	住所:〒920-1192 金沢市角間町
49		復興地域づくり論	自然災害からの復興を地域でどのように取り組むべきか学修する	共通教育科目 自由履修科目	77680.1	Q4	集中	信岡 尚道	nobuoka@staff.kanazawa-u.ac.jp	1	10	①-1	Q4	レポート	不要	各回、予習と復習の実施確認も行う。詳細はシラバスおよび初回のガイダンスにて	